

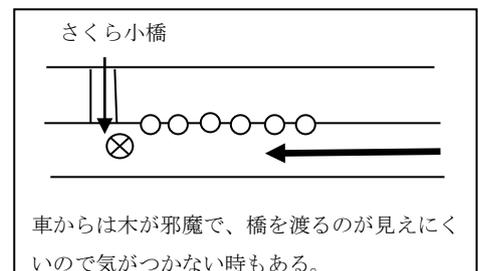
【登下校は危険がいっぱい！！】

新学期が始まって1ヶ月半が経ちました。新しい環境での充実した学校生活・その他の生活が送れているでしょうか？安全・安心な生活をするためには、自己防衛意識をしっかりとって、ルールを守ったり、注意すべき点に気をつけたりすることが大切です。この生徒指導部通信～交通安全編～は交通安全に関する事を話題の中心として取り上げています。皆さんの生活の中で、登下校時が一番危険なめに遭う可能性が高い時です。いろいろと具体的な例もあげつつ、留意したいことなどをお知らせしていきます。

【最近気になること】

① さくら小橋の飛び出し

さくら小橋（伊賀川に架かる）を渡って登校する（下校時は通行禁止です。知ってますか？）人が、堤防の樹木が邪魔で、東に向かう車から見えにくい状況があります。橋からそのまま飛び出すと、車と接触する危険があります。不用意に飛び出して、事故に遭わないよう注意しましょう。また、さくら小橋は雨の日は滑りやすく、冬期は凍結することもあります。今までも、何度も転倒事故が起こっています。併せて気をつけましょう。



② 私有地を横切るとは、よいはずはありません

店舗の駐車場や敷地内を勝手に横切って近道することはやめましょう。店舗やその私有地の所有者に迷惑がかかります。具体的には、アオキスーパーの駐車場は、登校する時間は品物を届ける大型車が出入りします。当然危険ですし、自転車がうろうろするのは、相手の業務上（トラックに乗っている運転者からすれば）正直、邪魔です。また、下校時は買い物客の車が入り込みますので、非常に危険です。また、石神橋付近の、タイヤ屋さんの敷地を斜めにショートカットするのが見られます。ここも、タイヤの運び込みなど大型車が目立ちます。バス停があり、バス待ちの客で歩道が通りにくいかもしれませんが、だからといって敷地内を歩いていいものでもありません。

③ 歩道走行中、周りへの配慮大丈夫ですか？

自転車は車両ですので、基本、道路の左側を通ります。歩道は歩行者が通行するところです。ただ、交通量が多いところや危険箇所などでは、自転車が歩道を通行することが許される場合があります。ただし、歩行者優先であり、なおかつ、歩道の中央より車道側を危険回避ができるよう、いつでも止まれる速度で通行することが定められています。

そこで、登校時に歩道通行中、特に気をつけて欲しいことを上げておきます。幼稚園の送迎バスや特別支援学校の送迎バスを待っている生徒の前を通るときは、スピードを緩めて十分注意してください。幼児は突然予想だにしない動きをしますし、障害のため素早く動いたりすることができない生徒もいます。事故回避を考えれば、十分注意する必要があるとは思いませんか？

【事故に遭ったとき、起こしたときの対応をしっかりと！】

始業式以来、何件か事故報告を受けていますが、その場での対応がしっかりできていない事があります。双方の怪我・被害の状況を確認しつつ、相手の確認（免許証・連絡先など）、警察・家庭への連絡、学校への連絡など、慌てず落ち着いて対応してください。また、怪我をさせたりしたときは、誠実に対応しましょう。また、北高生の事故をみかけたとき、対応に協力してあげられるといいですね。